

年 度 評 価 シ ー ト

課名 障害福祉企画課

施設の名称 静岡市心身障害者ケアセンター	指定管理者名 社会福祉法人恩賜財団済生会支部 静岡県済生会
-------------------------	-------------------------------------

1 履行状況

(1) 目標達成

1 日平均利用者数

※実施事業

自立訓練事業（機能訓練） 目標達成率110.8%

自立訓練事業（生活訓練） 目標達成率 92.2%

日中一時支援事業

事業名	定員	目標	R 7 利用者数		R 6 利用者数	
			1 日平均	延数	1 日平均	延数
機能訓練	20人	12人	13.3人	3,211人	10.1人	2,458人
生活訓練	10人	9人	8.3人	1,997人	7.1人	1,728人
日中一時支援	空床利用	3人	2.3人	546人	2.5人	609人

(2) 施設利用状況

(1) 及び以下のとおり

	入浴	食事提供	送迎
R 7	287人	5,617人	8,780人
R 6	514人	4,719人	7,297人

(3) 人員配置状況

仕様書に記載された人員の配置を適正に行った。

共通

	仕様書	実績
施設長	1人	1人
事務職員	1人以上	1人

自立訓練事業（機能訓練）

	仕様書	実績
サービス管理責任者		
	1人以上	1人
理学療法士又は作業療法士	※法令の人員基準では、R 7は常勤換算で2.2人以上必要	
	2人以上	理学療法士1人
		作業療法士1人
		常勤換算で1.1人（派遣）

看護師 1人以上 1人
生活支援員 8人以上（2人は常勤）
10人（常勤2人／施設長兼務）

※機能訓練、生活訓練の合計

栄養士 1人以上 1人（他施設と兼務）

※機能訓練、生活訓練の合計

調理員 3人以上 3人

※機能訓練、生活訓練の合計

機能訓練指導員

— 1人

自立訓練事業（生活訓練）

仕様書 実績

サービス管理責任者

1人以上 1人

生活支援員 8人以上（2人は常勤）

10人（常勤2人、施設長兼務）

※機能訓練、生活訓練の合計

※法令の人員基準では、R7生活訓練は常勤換算で1.4人以上必要

調理員 3人以上 3人

※機能訓練、生活訓練の合計

日中一時支援事業

機能訓練及び生活訓練の職員により実施。

※静岡市移動支援利用費・日中一時支援費助成要綱第3条において、管理者1人、サービス提供責任者1人配置し、職員を利用者5人に対して1人以上配置することと規定されている。

→管理者及びサービス提供責任者は施設長が対応し、職員は生活支援員等が対応することとしている。

（4）業務実施状況

業務仕様書及び事業計画書に従って実施されている。

ア 静岡市中心身障害者ケアセンター条例第3条に規定する各種事業

・利用者数は（1）のとおり。

・利用にあたり、体験、アセスメント、個別支援計画の作成により、利用者の意向に沿った訓練（リハビリ、個別訓練、自主トレ等）の提供を実施している。

・機能訓練については、理学療法士、作業療法士に加え機能訓練指導員による訓練及び施術を行うとともに、生活支援員による個別訓練を実施している。

・生活訓練については、社会適応訓練（金銭管理、買い物、調理、生活マナー等）、コミュニケーションスキル訓練等を実施し、利用者の社会適応能力向上に努めている。

イ 施設維持管理業務等

（ア）建物・設備等の保守管理業務

・建物や設備の保守管理は第三者委託により実施し、各業務とも適切に行われている。

ー：未実施 (3) その他の調査 【確認結果】 ー：未実施				
4 指定管理者の経理状況の評価				
【収支状況】 指定管理業務についての収支状況については、適正に執行されている。 【検証・分析等】 支出に対して、収入が上回り合計額577万円の黒字となった。昨年度と比較して機能訓練や生活訓練の利用率が増え、訓練等給付費収入が利用率が大きく向上したことによる収入増が要因であり、経理状況改善ができています。 【確認結果】 ○：調査の結果が概ね良好である。				
5 総合的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況 など）				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%; padding: 2px;">前年度事務事故発生の有無</td> <td style="width: 30%; padding: 2px;">無</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無</td> <td style="padding: 2px;">無</td> </tr> </table>	前年度事務事故発生の有無	無	前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	無
前年度事務事故発生の有無	無			
前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	無			
【検証・分析等】 協定の内容は概ね計画のどおり実施されており、良好な結果であった。 本施設については、利用者ニーズに応じた個別支援の充実及び専門職体制の強化により、利用実績及び収支の双方において前年度からの改善が確認できる。特に、自立訓練事業においては利用者数の増加が顕著であり、事業の有効性が認められる。 一方で、利用者の欠席による稼働率の不安定さや、自立訓練の増加に伴う日中一時支援の減少など、運営上の構造的課題が見られる。また、利用者確保において外部機関からの紹介に依存する傾向も見受けられる。 今後は、利用率向上に向けた登録者確保の強化、事業間の役割整理、効率的な運営体制の構築等に取り組む、より安定的かつ効果的な施設運営につなげていくことが求められる。 以上を踏まえ、全体的な業務の実施状況は概ね良好であると判断できる。引き続き、適切な施設運営に努められたい。 【評価結果】 ○：良好な管理運営であった。				

※事務事故が発生したとき及びモニタリング調査において改善に向けた協議があったときは、必ず改善状況を記載すること。